

のみSDGsパートナー活動状況報告書

能美市長 宛て

所在地 能美市山口町ワ27番地

企業・団体・個人名 (株)日本海開発

1. 活動内容及び効果

※活動の様子が分かる写真があれば添付する。

(活動内容)

SDGsアイコン

| | |
|---|---|
| <p>・当社が市内の給食残渣や剪定枝チップ等の再生資源を活用して作った有機肥料「ひかり太陽」を使用し、吉川農園の協力のもと、辰口中央小学校6年生を対象に大根づくり体験を行った。事前講習として、“循環型社会の形成”の取組を紹介した。授業後には、『環境食育絵日記』と題した「こうなったらいいな2030年の能美」を絵で表現してもらい絵日記展を実施した。さらに、優秀な作品の中から能美市長賞1点と教育長賞6点などを選出し、受賞者に表彰状と記念品を渡した。</p> |  |
| <p>・食育事業の一環として、収穫した大根を材料として活用するエコクッキングを辰口地区3小学校の6年生を対象に実施した。事前に食育の普及啓発につながる動画も作成し活用した。有識者にレシピ考案を行ってもらい直接指導もしていただいた。あわせて、体験した小学生とその家族を対象に食品ロスに関する意識調査を行った。</p> |  |
| <p>・能美市立根上中学校3年生153名と能美市浜町周辺の海岸清掃活動を実施した。活動を始める前に、当社が「オーシャンクリーンアップ活動」と題したSDGsと海洋ごみについて考える授業を行った。生徒には、プラスチック容器や破片、発泡スチロールなどの可燃ごみを重点的に集めてもらうことに注意を払ってもらい、30分ほどで、漁網や浮などの大きなものも含め210kgのごみを回収することができた。</p> |  |
| <p>・平成20年より続けているエコキャップ回収活動は、いただいた方々の写真を日々ホームページに掲載している。1000個集めると1人分のワクチン代金になり、世界中で病気に苦しむ子供たちの命を助けることができる。令和6年1月20日より、エコキャップの売却益を日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」へも寄付ができるようにし、学校・団体などへ協力を呼び掛けている。また、金城短期大学の学生にも協力してもらい「いしかわ環境フェア2024」にも出展し、楽しくリサイクルを学べる場として来場者にエコキャップアートを体験してもらった。同時に金城短期大学廣瀬ゼミの学生制作による海洋ごみを使ったキーホルダーやアクセサリを販売した。</p> |  |

(効果)

- ・小学生が持続可能な社会について自分たちで考える機会を与えた。
- ・自分たちで栽培した作物を食べるという体験を通じて、食の大切さを学習する機会ともなり、地産地消と食品ロス削減に対する意識を高めることができた。
- ・エコキャップ回収や海岸清掃活動を通じて、県内外の企業、学校、各種団体、地域の方々とパートナーシップを組むことができた。

2. 今後の活動予定

SDGsアイコン

| | |
|--|---|
| <p>・地域食文化の継承や普及啓発につながる動画を作成し、農業体験を実施した小学生にエコクッキングを体験させるなど、地域に適した食品ロス削減に向けた食育授業を継続する。</p> |  |
| <p>・小・中学校、高校、企業との海岸清掃活動を継続する。</p> |  |
| <p>・エコキャップ活動の推進と、「いしかわ環境フェア」出展を継続する。</p> |  |

活動の様子 ※活動の様子がわかる写真があれば添付する。



辰口中央小学校・大根収穫の様子



和気小学校・エコクッキングの様子



根上中学校・海岸清掃の様子



「環境フェア2024」の様子